

第26回小出記念日本語教育研究会

日時：2017年7月1日(土) 11:30~16:40

会場：国際基督教大学

参加費：会員 無料 ・ 非会員 2,000円 (当日入会可)
事前申込は不要・会場内に「子ども用フリースペース」あり

◆◆◆ 講演・ワークショップ ◆◆◆

日本語教育におけるアクティブトランジションを考える

【講師】 舘野泰一氏 (立教大学 経営学部 助教)

「キャリア教育」「アクティブトランジション(能動的移行)」の理論的背景やデータを知る“基本編”(講演)と、アクティブトランジションのワークショップを体験する“実践編”の2部構成で行います。

国内の日本語教育では、国をはじめ大学等の各機関においてキャリア支援が行われるようになってきています。近年様々な現場で続いている日本語教師不足によって、経験の浅い教師がキャリア支援の知識や技術を身につける段階を経ないまま実践せざるを得ない状況が起こりうるでしょう。また、キャリア教育の実践や研究にも未開拓の部分があるのではないのでしょうか。

このような状況を打破する知恵やヒントについて、参加者の皆様とともに考えます。多くの方のご参加をお待ちしております。

◆◆◆ 会員による発表 ◆◆◆

◆ 口頭発表 ◆

調整コミュニケーションのリソースとしての多様性 —国際共修授業における取り組みをもとに— 梅木俊輔 (東北大学)	日本語学校における進路指導経験の自己反省的分析と考察 江崎由美子 (CHEERS)
介護施設のアルバイト場面で使用された文法・語彙項目の特徴の分析 大場美和子 (昭和女子大学)	「触覚から多義へ」の意味拡張によるオノマトペ習得の検討 —中国人日本語学習者を例に— 馮亜静 (名古屋大学大学院生)
日本滞在中の韓国人留学生のキャリアに関する価値観の質的研究 —学部4年生2名を対象として— 李奎台 (東京外国語大学大学院生)	玉岡賀津雄 (名古屋大学大学院人文学研究科)
	日本語教師の専門性としての実践的知識とは —日本語教師教育への一提言— 緒方尚美 (九州大学)

◆ ポスター発表 ◆

中高年受講者にとっての日本語教師養成講座の意味 —キャリア形成と生涯学習への機能を探る— 田仲正江 (中央大学) 丸山具子 (早稲田大学)	就職活動におけるメールの実態 —実例から見えた具体的状況と打つスキル— 日野純子 (帝京大学) 松田佳子 (金沢大学)
海外高等教育機関における授業外日本語多読活動と自律的教室外多読 —ベオグラード大学での縦断的インタビュー調査を基に— 高橋亘 (東京外国語大学大学院生)	日本で学ぶ日本語学習者は俗語を自然習得するか 酒井彩 (九州大学留学生センター) 斉藤信浩 (九州大学留学生センター)
日本語教師養成で優先されるべき教育内容 —現職教師の意識から— 大川たかね (ヒューマンアカデミー)	留学生の日本語発表練習における相互評価に見る「お互い様効果」 杉本あゆみ (滋賀文教短期大学)
相互理解を目指した海外中等教育機関での日本事情教育の実践 —学習者と教員の「対話的協働」に着目して— 井上久子 (群馬大学大学院修了生)	

詳しいプログラム(時間および会場)はウェブサイトをご参照ください <http://koidekinen.org/>
小出記念日本語教育研究会事務局 〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2 国際基督教大学日本語教育課程 桜木研究室気付

